

第21回 兵庫便教会 報告

第21回兵庫便教会を7月29日（土）芦屋市立岩園小学校のトイレをお借りして開催いたしました。今回初めて会場をお借りすることができました。感謝です。学校に入ると「凡事徹底」の文字が飛び込んできました。「挨拶」「掃除」「授業」を徹底していくということなのでしょう。我々の今回の掃除が少しでもいい影響を与えられれば嬉しいと思いました。



甲南中学校1年生の生徒5名を含む18名で男女のトイレ掃除をいたしました。私の段取り不足で1セットの道具しかなく、迷惑をかけてしまいました。家を出る前にもう1セット持っていこうかという思いが浮かびましたが、楽な選択をしたのが間違いでした。ふと頭に浮かんだ事柄をもっと大切にしないといけません。

学校でも掃除のリーダーをしている生徒もいたこともあり、熱心に取り組んでいました。その姿に、我々も大いに刺激を受けました。

夏の暑い日の早朝から、自分が使っていない、

そして使うことのないトイレを掃除したという経験を忘れないで欲しいと思います。

生徒からは「工夫すると汚れがとれてよかった」「すぐにはとれない汚れでもどうにかしようと思った」「きれいにできてよかった。学校での掃除もがんばりたい」といった感想がありました。

今回は初めて参加する方もありましたが、経験者も多く充実した会となりました。交流会での感想では、「自分と向き合う時間が持ててよかった。きれいにすると気持ちがいい。」「頑張っている時にリーダーから声をかけられ嬉しかった。がんばっている子どもに対して声をかけることの大切さがわかった。」「掃除が学級経営につながると感じた。」「掃除をしていると自分の気持ちが表れることがわかった。」「無心になることができた。」といった思いが出てきました。



2014年8月に始めた兵庫便教会も21回目となりました。会場としてトイレをお貸しいただける学校、掃除道具をお貸しくださる西宮掃除に学ぶ会、そして参加してくれる皆さまのおかげで今があるのだと感謝の思いを新たにしました。これからも多くの先生に掃除の教育的意味を体感いただくために、続けていきたいと思ひます。

（文責 木田 重果）